

南瓜 (くりじまん)

情報提供：静岡県牧之原市在住 N様 (65601) 2012年6月19日

昨年からスーパーERを使い始め、今年は完全無農薬で栽培できました。味も良く、色艶の良い一等品が多く出来、昨年より収入が増えました。

特長

- 今年は農薬を一切使わずに栽培できたので経費を抑えることもできました。
- 葉は黒過ぎない若芽のような黄緑色で、付き方も程よい状態です。
- 艶があり、小さなものがほとんど無く、大き目の南瓜が多く採れました。
- ホクホクしていて甘味も強くできました。
- 周辺の園より早く収穫できました。

栽培地状況

- 海岸沿いの砂地で栽培しています。
- 苗は種から自家で作りました。
- 南瓜の他にごぼう・大根・お茶・とうもろこし・西瓜などを栽培しています。

施用状況

<2012年～> 10アール当たり

| | | 日付 | 希釈倍率 | 施用量 | 備考 |
|--------|-----|--------|-------|-------|-----------------------|
| 種まき | | 1/ 20 | | | |
| 定植 | | 3/ 20 | | | |
| 土壌灌水 | | 3/ 25 | 1000倍 | 1500ℓ | 海岸の砂地で乾燥しやすい畑なので多めに散布 |
| 作物への散布 | 1回目 | 4/ 5 | | 1000ℓ | |
| | 2回目 | 5/ 15 | | | |
| 収穫時期 | | 6/ 5 ~ | | | |

生産者の声

- 毎年販売してくれているお店のご主人が「今年のは凄いいね！色も艶も良くて、大きくて、ホクホクしていて美味しい！」と太鼓判を押してくれました。
- お茶や大根やとうもろこしなど他の作物の肥料や農薬を合わせて例年は年間180万円程度の経費がかかっていましたが、今年は例年の10分の1程度の出費で済みました。また、高値で販売できたので費用対効果が高くなり、スーパーERを使っていて本当に良かったな！と実感しています。
- 来年度も作物の生育状態を考慮して程よく施肥をしていきます。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。